

医療機関における 障がい者の就労支援について



(社福)福岡市社会福祉事業団
福岡市立障がい者就労支援センター
黒田 小夜子

本日の話

- ①障がい者就労支援センターの事業について
- ②九州医療センターで働くKさん
- ③障がい者雇用サポートデスクの取り組み
相談から支援までの流れ
- ④関係機関との連携について

福岡市立障がい者就労支援センター

- 15歳以上の障がいのあるご本人、そのご家族
- 障がいのある方を雇用している、また雇用をお考えの企業の方
- 障がいのある方に関わる支援者・支援機関・関係機関

※高等学校に在学中の方は3年生からの登録

※福岡市在住の方を対象

令和5年7月1日(土)

福岡市舞鶴庁舎へ移転しました

- ・福岡市立発達障がい者支援センター
- ・福岡市立障がい者就労支援センター
- ・中央障がい者フレンドホーム



事業内容

●障がい者への支援

- 1.総合相談
- 2.ジョブコーチによる支援
- 3.関係機関との連携
- 4.障がい者雇用にかかる
各種情報の提供
- 5.職場開拓

ジョブコーチ支援



支援の 3本柱

●就労支援機関への支援

- 1.就労支援事業所研修会
- 2.職場体験実習
- 3.企業見学
- 4.出前講座
(支援者向け／利用者向け)
- 5.その他就労支援に関する相談



就労支援事業所研修会

●企業への支援

- 1.雇用相談
- 2.求人開拓
- 3.障がい者雇用に関する社内研修
- 4.応募者の提案
- 5.ジョブコーチ等による職場適応支援
- 6.アフターフォロー(定着支援)



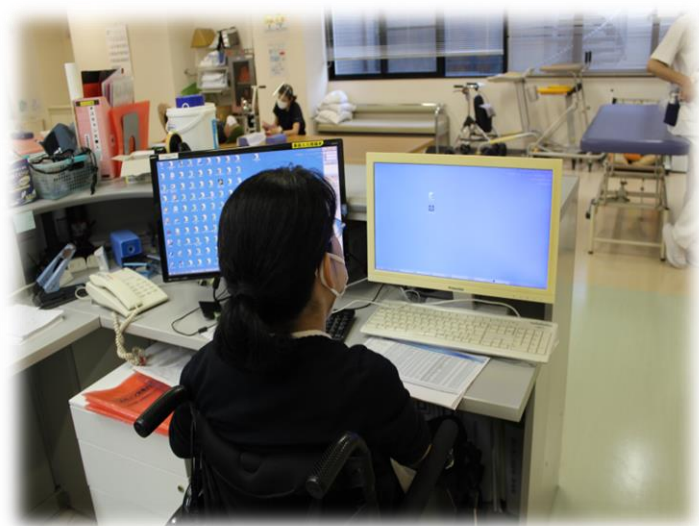
●組織体制

課長ー所長ー就労支援コーディネーター(8)
(1) (1) ジョブコーチ(8)
就労支援相談員(5)

(職員数23)

独立行政法人国立病院機構 九州医療センターで働くKさん

- リハビリセンターの受付カウンターに座り、リハビリに来られた方の受付業務やPC入力作業に従事
- 常に上司や同僚と相談をし、特に個人情報扱う業務なので、適切に管理することを意識して仕事をしている
- 現在、一日6時間、週5日勤務
休憩1時間



九州医療センターとセンターとの関わり



連携/協働



- 障がい者雇用担当の方との連携
- 数年来の連携の中で、病院業務を把握(病院内の見学)
- 当事者をイメージした職域、ワークシェアリングの提案
「障がい者には無理」ではなく「どの仕事、どの部署であれば可能・・・？」と
- 前例のない部署であっても、採用にチャレンジ
- 当事者の状況に合わせて、柔軟な働き方を検討

※その結果、事務補助、院内外清掃、薬剤部補助、図書館司書業務、などの業務で障がいのある人たちの雇用へ

医療機関で働く障がい者

35医療機関（～2023年度）

（センター登録者関係）

内訳	身体障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい	計
人数 (人)	9 ※視覚障がい1 聴覚障がい2 脳性麻痺 1	24	14 うつ病2 双極性2 てんかん3	9	56

従事する職種

	職 種
身体障がい	一般事務 事務補助 院内案内 マッサージ 調理補助 院内清掃
知的障がい	事務補助 病棟補助 介護補助 調理補助 ME機器の回収・清拭・返却 院内清掃
精神障がい	一般事務 事務補助 院内案内 看護補助 院内清掃 敷地内清掃 院内メッセンジャー 手術室物品補充・環境整備
発達障がい	事務補助 薬剤補助 洗濯業務 検体運搬 院内清掃

障害者雇用の状況(福岡県)

雇用障がい者数

過去最高を更新

20,656.0人 前年比 4.6%(899.0人)増

実雇用率 2.38% 前年比 0.09ポイント上昇

法定雇用率**達成企業の割合 52.5%**
前年比1.7ポイント上昇

障がい児・者の手帳所持者の推移

(福岡市)

	H17	H22	H25	H28	R1
身体	39,413	48,526	51,557	51,831	52,114
知的	5,881	8,101	9,306	10,764	12,164
精神	4,633	7,747	10,333	13,290	17,454
計	49,927	64,374	71,196	75,885	81,732

人口に対する出現率 R1年 5.3%

市民の約20人に一人が身体または知的、精神に障がいがある状況

精神障がい者の伸びが著しく、H17年からの14年間で約3.8倍

障がい者雇用、このような悩みが・・・

【人事の担当者】

- 社内の理解が得られない
- 雇用をどのように進めたらよいのか分からない
- 必要な人材を雇用できるのだろうか
- 障がい者が従事する業務を切り出せるのだろうか
- 雇用後に安定就業・定着できるのだろうか

【現場の担当者】

- 何か問題が生じたらどう対応すべきなのか不安
- 障がいについての知識が不足していて自信がない
- どのような配慮が必要なのがわからない
- 障がい者に任せられる業務がない
- コミュニケーションの方法、管理の方法がわからない

障がい者雇用サポートデスクでは



障がい者雇用をすすめるために

- 障がい者雇用への理解を深めたい
- 障がい者雇用に向けての準備について知りたい
- 障がい者の採用活動を手伝って欲しい
- 職場定着に向けた職場内のサポート体制を整えたい
- どのような支援機関があるのか知りたい

障がい者就労支援センターでは、
障がい者雇用サポートデスクを中心に、
次のような企業支援に取り組んでいます。



・障がい者雇用への理解を深めたい

院外の研修に参加

院内に向けた障がい者雇用の啓発



障がい者雇用セミナー

年間に数回開催

他社との意見交換の場の提供

出前講座

社員研修

管理監督者研修

「障がいの特性について」

「合理的配慮について」

「障がい者の職場定着について」

など

障がい者雇用セミナー

- 障がい者雇用に向けての準備について知りたい
 - 障がい者の雇用を推進する部署、チームの設置
 - 職域、業務の創出
 - 障がい者雇用にかかる助成金等の情報収集
 - 採用選考の方法について検討



ジョブコーチの派遣

障がい者雇用サポートデスク
他社事例の紹介
他企業の視察
ハローワーク等関係機関への橋渡し

ジョブコーチの派遣
職域、業務の創出を支援

- 障がい者の採用活動を手伝って欲しい
- 職場定着に向けた職場内のサポート体制を整えたい



職場見学・実習支援



就労SST講座

障がい者雇用サポートデスク
人材の推薦
職場見学、職場実習の支援
福祉サービス事業所、特別支援学校等関係
機関への橋渡し

職場定着に向けての支援
ジョブコーチの派遣
在職する障がい者向け就労SST講座開催

障がい者雇用セミナー
他社との意見交換の場の提供

相談から雇用までの支援の流れ



障がい者雇用サポートデスク

訪問ヒアリング
職場見学

就労支援相談員が
病院を訪問します

業務創出
ジョブコーチ体験実習

雇用に関するの困りご
とに応じて支援します

求人検討
関係機関調整

必要に応じ関係機関と
の調整をします

人材の推薦
募集・面接

希望者見学同行
プロフィール作成、提出
面接同行

職場実習
ジョブコーチ支援

採否の検討
各種制度の活用

採用後
定着支援

支援の頻度を減ら
しつつ職場での自
立を目指します

訪問ヒアリング
職場見学

業務創出
ジョブコーチ体験実習

求人検討
関係機関調整

働く環境を知るために

物理的環境

建物や作業場の広さ、高さ温度
や湿度、空調関係、
職場の施設、動線
音や臭い、照明の明るさ等



職務内容

業務内容、業務量、業務の難易度、1
日の工程、作業手順、要領、要求水準
(作業の精度、効率) など


人的環境

従業員の体制、勤務形態、指示・
命令系統、キーパーソンの有無
(管理者、現場担当者) など

企業風土や文化、歴史

地域との関係、企業設立からの経過、CSRの方針、就業規則や社内規定、
スローガン、…など

1日の業務の流れ、環境などを把握します

- 1日の仕事の流れを大まかに把握します
 - 時間スケジュール
 - 仕事の内容、場所、道具、注意点などを簡潔に記した一覧表を作る
- 障がいのある人は⇒
どのような場所？
どのような仕事？
一日はどのように流れる？
分からないから不安・・・
- 支援者は⇒
どのような支援が必要？

病院の業務【清掃の例】

- 9:00 タイムカードを押す
更衣室ロッカーに荷物を入れる
作業場へ移動
- 9:10 作業（手袋）
- 10:30 休憩(休憩室でお茶を飲む)
- 10:40 作業（手袋）
- 12:00 休憩室で昼食
- 12:40 作業（手袋）
- 14:30 休憩(休憩室でお茶を飲む)
- 14:40 作業（手袋）
- 16:00 荷物をとり、タイムカードを押す

障がい者、支援者が見通しをもって、就職に向けて取り組むことができます

仕事を集めて、整理します

- ・古新聞の整理
- ・ロビー、受付周りの清掃・整理
- ・休憩室の清掃
- ・来客へのコーヒー出し
- ・湯飲みの回収、洗い
- ・パソコンの入力
- ・アンケート集計
- ・チラシ等の印刷
- ・名刺印刷
- ・郵便局、ハローワークへの事務連絡
- ・給与明細の封入、郵送
- ・請求書の入力
- ・宅配便の伝票整理
- ・勤務表の入力 など

得意な作業を
集める

核となる仕事を中心に1日の業務、
1週間の業務内容を組み立てる

9:00~16:00(休憩1時間)
月~金 週30時間勤務



障がいのある人を知るために

人材の推薦
募集・面接

職場実習
ジョブコーチ支援

採用後
定着支援

能力・適性の状況

理解力、体力、身のこなし、正確性、効率性・スピード、持続力、巧緻性、集中力の程度や時間、道具の使用、得意(不得意)、好き(嫌い) など



環境に関する影響の有無

音、温度、臭い、明るさ、制服等の着用、人の出入り、社会性、コミュニケーション、通勤手段 など

学習のタイプ

学習曲線(スロースタート?)
経験値、習熟効果、口頭指示理解か視覚指示理解、記憶力
など

生活基盤や健康面、 就労ニーズ

生育歴、家族、生活面のサポート、
希望する就労内容(働き方、労働条件等)…など

プロフィールを作成します

令和 年 月
プロフィール
日現在

始めは個人情報を伏
せて情報を提供
プロフィールを作成
または口頭にて

1回目の検討



検討の余地を伺い、本
人の職場見学、面接へ
見学、面接等への同行

2回目の検討

氏名	A氏	年齢	歳
住所	福岡市〇区〇〇		
障がい名		手帳	
生育歴 経過等			
最終学歴			
職歴			
アピール ポイント			
障がい状況 と 配慮事項			
医療情報			
その他			
担当者	福岡市立障がい者就労支援センター		

※プロフィールは個人情報のため実習終了後(または不採用の場合)回収させていただきます。

人材の推薦
募集・面接

職場実習
ジョブコーチ支援

採用後
定着支援

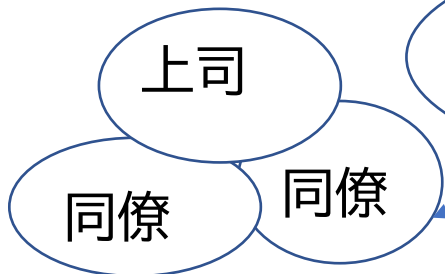
職場実習/ジョブコーチ支援

特性に配慮した雇用管理や配置、職務内容の設定に関する情報の提供

作業遂行力/コミュニケーション能力の向上
健康管理、生活リズムの構築支援

事業主
(管理監督者・人事担当者)

本人



コーディネーター
ジョブコーチ
就労支援相談員

支援の目標は職場での自立

家族

障害の理解に係る社内啓発
障がい者との関わり方や
指導方法に関する支援

安定した職業生活を送るための
家族の関わり方に関して支援

職場実習:概ね2週間以内 手当はなし 保険加入
採用後、予定される業務を体験してもらい採否判断の情報の一つに
障がいの状況、本人の人柄、業務スキル、ビジネスマナーなどを確認

人材の推薦
募集・面接

職場実習
ジョブコーチ支援

採用後
定着支援

就労支援機関と連携する

- ハローワーク 専門援助部門
- 地域障害者職業センター(福岡市、北九州市)
- 障害者就業・生活支援センター(県内13か所)
- 自治体が実施する就労支援機関(福岡県、福岡市、北九州市)
 - 福岡県障がい者雇用拡大事業
 - 北九州市しごとサポートセンター
 - 福岡市立障がい者就労支援センター
- 障害者職業能力開発校(北九州市、鹿児島県川内市)
- 就労移行支援事業所(障がい者福祉サービス事業所)

関係機関との連携

労働局・ハローワーク

(全国47箇所・全国544箇所)

就労支援機関

福岡障害者職業センター

障害者就業・生活支援センター

福岡市立障がい者就労支援センター等

最適なマッチングに向けて

障がい者

「自分の能力を発揮したい」
「必要な配慮を受けながら、
安心して働きたい」



事業主

「障がい者に活躍してもらいたい」
「ニーズに合った労働者を
採用したい」



教育・医療・福祉などの各関係機関
(生活支援に関する支援機関などとの連携)

障がい者雇用に関する企業支援の窓口

(市立障がい者就労支援センター)

企業様向け

障がい者雇用サポートデスク

障がい者雇用や職場定着に関するサポートを行っています。



発達障がいって？



障がい者雇用？



社員への周知は？



うちの社員がいるけど…



ジョブコーチ支援って？

お悩みなんでもご相談ください。

一緒に解決しましょう！

障がい者雇用に対しての
「不安」や「悩み」に
お応えします。

ご相談内容により
関係機関への調整を行い
課題解決のサポートを
いたします。

福岡市立障がい者就労支援センター
障がい者雇用サポートデスク

092-711-0839 (直通)

福岡市中央区舞鶴1丁目4番13号 福岡市舞鶴庁舎4階



ともに生き、共に働く
共生社会を目指して

ありがとうございました。

参考:厚生労働省HP